

富士宮口五合目来訪者施設整備事業の状況について

1 要 旨

令和3年度に遺産影響評価を実施し、第15回富士山世界文化遺産協議会（令和4年3月）において承認された、富士宮口五合目来訪者施設（供用開始目標令和10年度）については、現在、静岡県において基本設計を進めており、現時点における進捗状況について報告する。

2 施設概要

- ・噴火、暴風雨時のシェルター機能等を備え、国内外からの来訪者の安全を確保
- ・世界遺産富士山の文化的価値の発信、環境教育や環境保全活動の拠点

項目	内容
機能	(安全安心) ・災害時避難機能 ・臨時派出所 ・救護室 (理解促進) ・展示、レクチャールーム (利便性) ・登山用具レンタル、売店、飲食提供 等
面積	約 1,600 m ² 程度

3 進捗状況

- ・標高 2,400 メートルの斜面地、冬期間の閉鎖、電源等のインフラ未整備等という厳しい条件下における難工事となることが想定されることから、着実に工事を進めるため、設計の段階から施工者の意見を取り入れる E C I 方式※の導入を検討している。

※ E C I 方式
設計段階から施工者が参画し、施工の実施を前提として技術協力を行う方式。
施工者の特許技術等の活用により、着実な施工や工期短縮等が期待される。

- ・基本設計と併せ、富士宮口五合目全体に係る道路計画の検討を、地元関係者等と調整しながら進めている。

4 スケジュール

基本設計及び実施設計を進め、国への許可申請を行い、令和6年度中の着工を目指す。